



木簡と同文の墨書土器—平城京二条大路上の

溝状土坑から出土

数万点に及ぶ木簡が出土した平城京二条大路上の溝状土坑から、木簡とほぼ同文の墨書土器が出土した。木簡は、

・「岡本宅謹

申請酒五升

右為水葱撰雇女

・「□給料

天平八年七月廿五日六人部諸人

と記された文書木簡(『木簡研究』一一)。「奈良・平城京跡」

SD五三〇〇出土木簡49)。一方、墨書土器は、土師器の皿で

岡本宅謹申請酒五升右

岡本宅謹申請酒五升右

為水葱□雇女□給料天平

八年七月廿□日

岡本宅謹申請酒五升

と書かれている(奈良国立文化財研究所『平城京長屋王邸宅と木簡』付表一「墨書土器一覽)。岡本宅からの瓜や栗の進上木簡も見つかっているので、木簡を受け取った側(藤原麻呂の家政機関か)で、これを見ながら習書したものと考えられる。

